

令和7年度草の根・人間の安全保障無償資金協力の署名式典

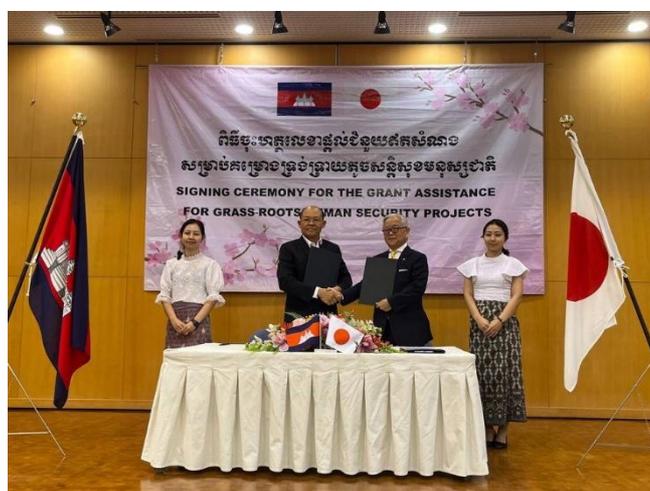
令和8年2月26日（木）、令和7年度草の根・人間の安全保障無償資金協力の署名式典を当館多目的ホールにて開催しました。同式典では、植野篤志大使が、スパイリエン水道公社のテップ・ナロン総裁との間で「スパイリエン州コンディアンライイ町9村浄水システム整備計画」（供与限度額134,969米ドル）の贈与契約に、また、ストウントレン州教育・青少年・スポーツ局のヒング・ポリー局長との間で「ストウントレン州ソムダイ・クロム・プレア小学校校舎建設計画」（供与限度額172,751米ドル）の贈与契約書に署名しました。

「スパイリエン州コンディアンライイ町9村浄水システム整備計画」では、浄水システム（1,000 m³/日）、取水ポンプ及び送水ポンプを整備します。同地域では、既存の浄水設備の老朽化により水質に問題が生じているほか、衛生的に安全が確保されていない地下水や、自宅周辺の池・湖などから取水しているケースもあり、住民の健康に影響が生じるリスクが存在しています。

この事業により、9村にわたり、12,000人以上の住民がいつでも安全な水にアクセスできるようになり、住民の基礎生活の向上が期待されます。



「ストウントレン州ソムダイ・クロム・プレア小学校校舎建設計画」では、コンクリート造りの新校舎1棟及びトイレ、並びに学校備品（机・椅子やホワイトボード）を整備します。同校においては、木造校舎の老朽化が進んでおり、屋根や柱の損傷が随所に確認され、使用し続けるには危険な状態となっています。また、雨天時には雨や風による騒音や雨漏りの影響で授業を中断せざるを得ません。学校備品もひび割れや歪みが生じ、適切な使用が困難な状況にあります。本事業を通じ、新校舎及び学校備品を整備することで、同校に通う約580人の児童及び20人の教員



が安全な環境下で学習を行うことが可能になり、同校の教育の質が改善されることが期待されます。



式典において植野大使は、今回の支援がカンボジアと日本の更なる友好促進につながることを期待する旨述べました。

続いて各団体の代表者がスピーチを行い、日本国民及び政府への感謝の意を表明するとともに、着実に事業を推進していくことを約束しました。

(了)